

目 次

第2版はしがき

初版はしがき

序 章 公共政策と価値対立——答えは1つではない 1

- 1 公共政策をめぐる対立……………1
- 2 価値対立の不可避性……………4
- 3 公共政策について考えるために……………7

第1章 福祉政策——多くの対立軸と合意形成の難しさ 12

- 1 社会統合と福祉国家……………12
- 2 グローバル化と福祉国家……………15
- 3 日本の福祉政策——高齢者重視か若年層重視か……………17
- 4 対立軸が錯綜する福祉政策……………28

第2章 教育政策——公益と個人の幸福は両立するのか 34

- 1 教育政策のアウトライン……………34
- 2 地方分権をめぐる対立——全国標準か地方の自由か……………36
- 3 選択の自由をめぐる対立……………38
- 4 民意をめぐる対立——政策を誰がつくるか……………40
- 5 大学教育を受ける機会の平等をめぐる地域間の対立……………44
- 6 バランスのとれた教育政策——極端に走らないために……………47

第3章 経済政策——市場メカニズムの活用とその限界 51

- 1 経済政策とは何か……………51
- 2 経済政策における様々な対立軸……………53
- 3 市場での健全な競争環境の確保……………59
- 4 経済成長を支えるイノベーション……………63
- 5 地球温暖化問題への取り組み……………67
- 6 対立軸に対して私たちがなすべきことは何か……………69

第4章 公共事業・公共交通政策——持続可能な社会に向けて 73

- 1 公共事業における変化と課題73
- 2 地域公共交通の現状と課題79
- 3 公共事業・公共交通の担い手に関する視点81
- 4 インフラ・地域公共交通の維持をめぐる対立軸84
- 5 今後の公共事業・地域公共交通の進む道91

第5章 エネルギー政策——脱原発か脱石炭火力か 94

- 1 エネルギー政策の3Eと戦後日本94
- 2 福島原発事故以降の原発をめぐる価値対立97
- 3 エネルギー選択をめぐる政策論議100
- 4 脱石炭火力をめぐる国際的な価値対立104
- 5 価値対立の教訓と今後の展望110

第6章 ICT政策——AI社会における情報の保護と活用 114

- 1 AI社会とデータ114
- 2 AIをめぐる多様なアクター116
- 3 新しい技術に対する評価の多様性120
- 4 政策的対応の可能性と限界123
- 5 価値対立の解消は難しい128

第7章 外交・安全保障政策——4つの対立軸 132

- 1 外交・安全保障政策とはどういう政策か132
- 2 外交政策における4つの対立軸135
- 3 日本の開発協力政策の事例139
- 4 日本の安全保障政策の事例——沖縄の米軍基地問題を中心に144
- 5 対立はどのように解決されるのか150

第8章 移民政策——社会統合政策との関連から 153

- 1 なぜ移民政策を取り上げるのか153
- 2 労働力としての移民158
- 3 生活者市民としての移民160
- 4 シティズンシップについて162
- 5 日本への示唆164

第9章 公共政策と政府間関係——中央集権か地方分権か 170

- 1 なぜ公共政策と政府間関係なのか…………… 170
- 2 政府間関係の変化…………… 172
- 3 具体的な事例でみる対立軸…………… 176
- 4 人口減少社会における公共政策と政府間関係をどう考えるか…………… 182

第10章 公共政策と予算——少子高齢化社会に対応して 190

- 1 公共政策と予算…………… 190
- 2 予算に関する対立軸…………… 196
- 3 予算配分の課題…………… 203
- 4 予算配分の主体はどこにあるのか…………… 205
- 5 社会の変化に対応した予算配分…………… 207

終章 価値対立と合意形成——合意形成をあきらめない 212

- 1 民意の反映の限界…………… 212
- 2 合意形成への志向…………… 214
- 3 「とりあえず」の「おとしどころ」としての公共政策…………… 219